



チューブレスシーラントの重要性



自転車用タイヤに適したシーラントを選ぶことは、ヴェロフレックスのチューブレスレディ (TLR) クリンチャータイヤを使用する上で最も重要なことの1つです。

シーラントは「魔法」のようなものです。ただし、空気が抜けてしまうような小さな穴を、うまく塞ぐことができるシーラントをあなたは選ぶ必要があります。適切なシーリングには、適切なシーラントが重要です。TLRはシーラントなしでは空気を保持することができません。

どのシーラントが最適？

市販されているシーラントには天然ラテックス、合成ラテックス、ラテックスフリー、発泡性、微粒子入り、粒子なしなどさまざまな製品があります。

そして、リムにはさまざまなビード形状があるため、残念ながら全てにおいてシーラントが機能するわけではありません。すべてのタイヤにシーラントを使うことが当然ではなく、タイヤを正しくシーリングできないのであれば、そのタイヤを有効に使うためにインナーチューブが唯一の解決策となることもあります。

私たちは、シーラントについていくつかのテストを行った結果、ラテックスコーティングされたコットンケーシングとの親和性から、ヴェロフレックスのTLRに最も適しているのはラテックスシーラントであることを突き止めました。

市販されている様々なシーラントの中で、最も性能が良く、私たちのTLR クリンチャーに装着することをお勧めしたいのは、以下のものです。

Joe's no flats – Super Sealant

Mavic – Tire sealant

Stan's no tubes – Tire sealant

なお私たちは、最新のシーラントをテストしてTLRでの性能を確認し、最適なソリューションを提供するために、使用を推奨するシーラントのリストを更新し続けます。

避けるべきシーラント

上記のリストに記載されていないシーラントは、すべて適さず、強すぎるためトラブルの原因となり、タイヤを破損する可能性があります。

シーリング材の中には、固形粒子が薄すぎるものや泡状のものは、綿のケーシングの微小な漏れを塞ぐのに不向きなものがあります。だから、シーラントの選択にはより注意が必要になります。

また、顔料がケーシングの側壁を汚し、色を変化させる可能性があるため、当社のガム色ケーシングへのカラーシーラントの使用は推奨していません。

シーラントを正しく使用するためのヒント

さらに、シーラントの固形粒子を均一するため、注入する前の数秒間、シーラントボトルを強く振っておくことを忘れないでください。これは注入したタイヤに均質に行き渡らせるためにとても大切です。

残念なことに、液体の固形分はボトルの底にたまりやすく、十分に振って均等に広げないと、そのシーラントの機能は十分に発揮できません。



シーラント液の固体粒子は分離してボトルの底に付着する傾向があります。

注入後

シーラントを注入し、タイヤに空気を入れたら、ハブを持ってホイールを回し、シーラントを内面に均一に行き渡らせ、リムとタイヤの微細な隙間を塞ぐことが大切です。

装着後2～3日の間は、小さな液漏れや空気漏れがあるかもしれませんが、タイヤに空気を入れ、タイヤ内部のシーラントをより良く分散させるために、ハブを持ってホイールを回す動作を繰り返してください。この作業は液漏れがなくなるまで行ってください。

コットンケーシングはラテックスで覆われているため、ラテックスインナーチューブと同様、一般的に毎日約0.5barの空気圧損失があります。